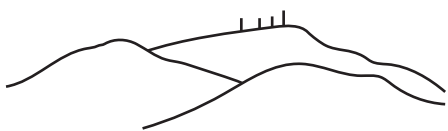


# Youth Manna

2021/1/25 - 1/31



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/1/25(月)

## 民数記 13:1-24

約束の地『カナン』を偵察するために、各部族から族長が一人ずつ遣わされたよ。カレブとホセア(ヨシユア)は重要人物だから覚えておこう!

カナンの地を偵察するとき、族長たちはどんな思いでいただろうか? 「神様が与えてくださる地」という思いか、それとも目に見えるものだけに圧倒されただろうか。(その答えは明日の箇所に分かるよ!)

私たちも何かをする前に「偵察」のようなことをする時があるけれど、その時に大切なことは、神様の約束と導きをどう受け止めているかなんだ。次の学年や学校のことを考えるとき、見えるものを超えて、神様の期待を受け取っていきましょう! 今日の日も神様の期待を感じながら歩いていこう!

2021/1/26(火)

## 民数記 13:25-33

今日の箇所は、四十日間の偵察から戻ってきた族長たちの報告の場面です。彼らは、この地が確かに神様が語っておられた通りの豊かな地であることを報告しつつも、そこには倒さなければならない強い民がいることも報告しました。

その後で、カレブの言ったことと、ヨシユアを除く十人の族長が言ったことを比べてみよう(30-33)。信仰を持つというのはどういうことだと思うかな? 少し自分で思い巡らして考えてみよう!

私たちも、見える相手を恐れてしまうことがあるね。だけど、どんな時も神様がともにいてくださることを思い出せるように祈ろう! 今日、恐れを感じる時に、カレブの信仰を思い出して神様を見上げよう!

2021/1/27(水)

## 民数記 14:1-25

偵察の報告を聞き、民は泣き明かした。全会衆が主に対する不信仰に陥ったのである。そして彼らはモーセとアロンに不平を言った。さらに「エジプトに帰ろう」(4)と、エジプトの奴隷状態から救い出してくださいと主を、全面的に拒んだ。彼らを説得しようとするカレブとヨシユアを打ち殺そうとまでする。

ご自身を拒んだ者を疫病で打ち滅ぼそうという主に、モーセは懸命にとりなしをした。その結果、主は「わたしは赦す」(20)と驚くほどの恵みを与えて下さった。しかし主は、ご自身を全面的に侮った者たちに裁きを下される。

神様、不信仰に陥り、否定的な思いに支配されそうになるときがあります。私がいづも、あなたの恵みを見出すことができますように。

2021/1/28(木)

## 民数記 14:26-45

モーセの主への必死のとりなしは聞かれたが、肝心の民は悔い改めていなく、神に不平を言っていた。そして主は、カレブ、ヨシユアを除く20歳以上の者たちは約束の地に入れないと宣言され、従わなかったために荒野を40年間さまようことになる。

さらにモーセが主のことばを民に伝えると、嘆き悲しみ、モーセの警告を無視して山地に上り、アマレク人とカナン人にうたれた。

なぜこうも、と、ここを読むと思うが、これが人の弱さなのかも知れない。必要があれば立ち返ろう。そして神様と共にいる喜びを感謝しよう!

2021/1/29(金)

## 1テサロニケ 1章

▶テサロニケはギリシャの地方都市です。パウロは第二次伝道旅行(使徒15:40-18:22)でテサロニケを訪れました(使徒17:1-9)。使徒の働きもあわせて読んでみよう!

▶テサロニケのクリスチャンは、信仰によってみことばを受け入れ、パウロや主のように行動をしました(5,6)。その結果、みことばと彼らの信仰は色々な場所へ伝わりました(8)。

▶私たちにも、救われてほしい家族友人がいると思います。そのとき、鍵となるのは「信仰と愛と希望」です(3,1コリント13:13)。テサロニケ人への手紙では、特に希望(望み)について書かれているので、明日からも期待を持って読んでいこう!

2021/1/30(土)

## 1テサロニケ 2:1-12

パウロは、私たちは神様から福音を委ねられたと教えているね。だから、人を喜ばせるのではなく、私たちの心を調べられる神様が喜ぶかどうかを大切にしてお話をしてきたんだ。

今日の箇所ではパウロが実際にどう人々に接していたか具体的に書いてあるね。いくつかメモしてみよう!

私たちは実際の福音を語ることに加えて、普段のことばや態度を通してイエス様を伝えることができる!パウロの姿の中で自分に必要だと思うのは何かな?その成長のために祈ろう!

2021/1/31(日)

## 1テサロニケ 2:13-20

パウロたちが福音を語った時、テサロニケの回心者たちはそれを神のことばとして受け入れました。神のことばを受け入れた人々は変えられました。しかし、変えられたことによって同胞に苦しめられることにもなりました。いつの時代でも迫害者たちは神のみわざに対抗し、福音が人々に受け入れられることを妨げます。しかし、神様の迫害者に対する怒りは激しいものとなっています。(16)

私たちも神のことばを受け入れ、救われて、新しいいのちに生かされています。まずそのことに感謝しましょう。

同時に友達から嫌なことを何か言われたりすることがあるかもしれませんが。その言葉に驚くことはありません。キリストの教会の一員であることしるしだからです。そのことについても神様が正しくさばってくださいます。自信をもって私たちができる宣教をしていきましょう!